

I think leadership quality can only be acquired really by practicing it, by having the opportunity to lead somebody.

リーダーシップの資質は、本当のところ実践を通じてでしか身につかないと思います。実際に人を指揮する機会を通じてですね。

leadership quality リーダーとしての資質

やまと言葉 quality は「人やものが持っている性質」がコアの意味です。そこから、「人やものが他と違って特徴的に持っている特質」の意味で使われます。leadership quality は、「リーダーとして特徴的な質 リーダーとしての資質」のような意味になります。

to acquire ~ ~を身につける

やまと言葉 「手に入れて自分のものにする」がコアの意味です。そこから「獲得する」、「習得する、身につける」などの意味で使われます。

by practicing it 実践する、実行する

やまと言葉 to practice ~ は「~を練習する」という意味に馴染みがあるかもしれませんが、コアの意味は「実際にやる」です。そこから、「~を練習する」、「~を実践する」、「~を実行する」などの意味になります。

by having the opportunity to lead somebody 人を率いる経験をするによって・・・

ロジック by practicing it ...「実践を通じてなんです」と言った後、同じby ...の言い方で情報が続きました。このような場合のひとつの可能性として、直前に述べたことをより具体的に説明するために、前の内容を言い換えた情報が続くことがよくあります。これも、リーダーシップの資質を身につけることにおける「by practicing it ...実践を通じて」とは、具体的にどういうことかをもう少し具体的にイメージが湧くように言い換えて説明してくれています。同じ文の中で「詳細」を説明するサポートが一言足されてくる感覚です。

So you have to be courageous enough and say, "Well now I stand in front of five, or 50, or 500 people, and I have to speak to them and lead them within this business."

ということは、「さあ、今、私はこうして、この5人なり、50人なり、500人の人たちを前に立っている。このビジネスで、私はこの人たちに語りかけ、この人たちを引っ張っていくなぞ」と言える勇気を持たなければいけません。

So, ...

ロジック 「実践をするしかない」というメインポイントを踏まえ、So で前を受けて、「実践する」ということをより具体的に説明するサポートが来ています。「その機会が来たときはそれを引き受ける勇気がなくてはいけない」と「実践する」にあたって求められるものを説明することによって、「実践をするしかない」というメインポイントを説得しています。

have to ~しないといけない

やまと言葉 have to ...は「他に選択肢がない」ことにフォーカスがある表現で、そこから「しなきゃいけない」という意味で使われます。ここでは、「リーダーシップの資質を育てるためには、他に選択肢がない 避けて通れない、どうしてもしなくてははいけない」という響きになります。

However, at the age of 20 or even 30 when you don't have this opportunity, what is important is that you observe leaders that impress you.

とは言え、20歳や、30歳にしても、こうした機会がない時代には、重要なのは自分が素晴らしいと思うリーダーを観察することです。

However とは言うものの

ロジック ここまでは、「リーダーシップの資質は実践による経験を通じてでしか身につかない」というアドバイスでした。この点は、事実であり、重要な点であるとしても、現在そういう立場にない人は困ってしまうアドバイスかもしれません。ここまで聞いてくると、やはり However で話が転換して、後半部分が彼のより大きなメインポイントだということが分かります。前半は、メインポイント側に入る前に、重要なので是非入れておきたかったお断り、前置きという感じです。「リーダーシップの資質を身につけるためには、確かに実践をするしかない面がありますよ。この点も大事なので頭に置いておいてもらいたいのですが・・・」と先に前置きをしておいて、「でも、とにかく本題である”今できること”としては・・・」という感じで後半がきています。But ではなく、However で転換している分、スピーカーとしては、「前半で述べたことも重要だよ、忘れないでよ」という意識が強いのかもかもしれません。

what is important 重要なのは

パターン表現 「重要なこと！」という名詞の「かたまり」です。これで一単語感覚でひとまとまりにとらえられるようにしておきましょう。

I mean I think if you are interested in becoming a leader you have to learn and look at how others do before you get a chance. Because, it's quite critical. If you are then nominated as a leader and you fail, it's very difficult then to climb uphill again.

つまり、リーダーになりたいと思うのであれば、他の人たちがどうやっているのかを見て、学んでおかねばなりません、自分にチャンスがめぐってくる前に。というのも、これは決定的に重要なことだからです。やがてリーダーに選ばれて失敗をすれば、そこからまた這い上がるのは非常にむずかしいですからね。

I mean つまり・・・

ロジック 「こうした機会がない20代、30代で重要なのは、自分が素晴らしいと思うリーダーを観察すること」というのが後半のメインポイントです。I mean ...の「旗印」表現で、前にメインポイントとして述べたことがもっと具体的な行動としてイメージできるように言い換えて詳しく説明してくれるサポートが続いています。

look at ... ~を見る

慣用表現 to look at ... は単に「見る」だけではなく、「じっくりと見て考える、検討する」まで含む感じです。

how others do 他の人がどのようにやっているか

パターン表現 「他の人がやる、そのやり方」「他の人のやり方！」という名詞のかたまりです。前出の what is important もそうですが [what is ---], [what S + V], [how S + V] のような、疑問詞による名詞節は非常によく出てきます。これで一単語感覚でとらえられるように慣れておきましょう。

Because, it's quite critical と言うのも、これは決定的に重要だからです

ロジック 「他の人がどのようにやっているかを見て学ぶ必要がある」ことを説得するためのサポートがきました。Because ... という「旗印」表現で、「決定的に重要だから」とその重要性の理由を説明しています。

to be nominated as ... ~に指名される、任命される

やまと言葉 「nomin- (名前) + -ate (~させる) 名前を明らかにする」という語源から、「任命する」、「指名する」、「推薦する」、「登録する」などの意味で使われます。

to climb uphill 上り坂を登る

慣用表現 uphill は「坂の上の方へ」という意味です。

During this training period I was fortunate to have a number of good bosses who were good leaders.
And I didn't copy them but I really sought out the positive characteristics of what makes in my opinion a good leader.

この訓練の時期に、私は運よく、よきリーダーである素晴らしい上司に何人も恵まれました。で、私はそっくり彼らの真似をしたわけではないですが、自分から見て、何がよきリーダーの特質なのかを真剣に見つけ出そうとしましたね。

During this training period I was この訓練の時期に、私は……

ロジック

「この訓練の時期に私は……」と来たところで、自分の過去の話に転換したことが分かります。「他の人を見て学んでおく」というメインポイントに対して、二つ目のサポートでは、スピーカー自身の経験を話すことによって「自分自身も真剣にそれをやった」ことを述べ、説得力を強めています。

I was fortunate to... 幸運にも～、運よく～

慣用表現

「運よく～できた」という決まった言い方です。

a number of good bosses who were good leaders 何人もの、いいリーダーである素晴らしい上司

パターン表現

「何人もの、よきリーダーの資質を持った、素晴らしい上司」と修飾部分が長くなる内容を、おなじみの「名詞 + 修飾節！」のかたちで説明しています。「英語は後ろから詳しい説明が続く可能性がある！」という意識を常に持ち、...good bosses と名詞が出てきた時点で後ろを楽しみに待つ感覚で先を聞き進みましょう。

to copy ~ ~を真似る

やまと言葉

「もとにあるものと同じものをつくる」がコアの意味です。そこから「真似る」という意味でも使われます。

to seek out ~ ~を探し出す

慣用表現

「探して(seek) 外に出す (out)」から「探し出す」という意味です。

what makes in my opinion a good leader 私から見た、いいリーダーの特質

パターン表現

what makes a good leader で「いいリーダーを成しているもの」「いいリーダーの特質！」という名詞のかたまりです。そこに「in my opinion 私の考えで」が挿入されています。